

一般質問

- ・浜岡原子力発電所再稼働について
- ・「御前崎市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」について



鈴木克己

問

次期原子力規制委員長に内定している山中委員は、浜岡原発を視察した際に「地震津波に対しては厳正な審査をする必要がある。」と述べ、また、更田委員長も「安全に妥協は許されない。急ぐことで安全の確認がおろそかになるようなことはできない。」と毅然として述べています。市長の規制委員会の審査状況に対する考え、今後の対応を伺う

答

引き続き規制庁に対し、適切なタイミングでの審査状況の説明や、厳正かつスピード感を持った審査を求めるとともに、関係省庁に対し、市内経済の活性化や市民の安全安心など、必要に応じ、地域の発展に資する要請をしていきたいと考えています。

問

ロシアのウクライナへの原発施設への攻撃により原発に対する武力攻撃が現実化しました。浜岡原発への武力攻撃が起きた場合の「市民保護計画」について伺う

答

原子力発電所への武力攻撃が起きた場合には、国民保護法に準じた「御前崎市国民保護計画」において、第七章に「武力攻撃原子力災害への対処」で基本的な措置事項が定められています。このような武力攻撃に対しては、国防の観点から、政府が主体となり対処すべき課題だと考えています。

問

昨年、重要土地利用規制法が成立し、今後外資規制土地の指定が行われます。御前崎市には浜岡原発、航空自衛隊のレーダー基地があります。外国資本による太陽光発電事業については注意が必要かと思えます。国から通達などがあったのか伺う

答

昨年公布された「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律」については、国からの通達などにつきましては、現時点では確認されていません。

一般質問

- ・学校再編成について
- ・一般競争入札について



阿形 昭

問

令和12年度から御前崎中学校には地頭方小の卒業生が来なくなり、白羽小と御前崎小の卒業生だけが進学します。御前崎中学校の運営が心配です。現在の中学校二校体制を堅持して、よい刺激をしい切磋琢磨してほしいです。教育長の考えを伺う

答

中学校二校体制は、二つの中学校が特色を生かし、互いに高め合うので意義があることだと思えます。ただ、御前崎中学校が白羽小学区と御前崎小学区で構成されると、令和14年度の入学生から一学年一学級の規模になります。この場合、きめ細かな指導は可能ですが、人間関係が固定されることや教育の機会が限定されることが懸念されます。

問

中学校二校体制を堅持するために、御前崎中学校の学区を白羽小と御前崎小と浜岡東小にして、浜岡中学校の学区を第一小と浜岡北小にすればどうか

答

考えられる複数の案についてメリットやデメリットの比較を進めています。ご提案いただいた案も含まれています。生徒の成長のために、どの選択肢がいいのか検討していきます。



御前崎中学校

問

御前崎市の一般競争入札は、予定価格に近い価格での落札が多く、高い落札率です。令和2年度の平均落札率は、95.8%でした。予定価格を知っている職員は誰か

答

予定価格を知っている職員は、担当課の職員と担当部長および財政課契約係の職員です。